

施策番号 2-2-2	施策名 スポーツしやすい環境づくり	基本目標	心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり			
		政策名	地域文化の形成とスポーツ環境の充実			
	主管課	生涯学習課	課長名	日下勝祐	内線	451
	施策関係課					

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
町民がいつでも気軽に自由にスポーツできる環境づくりをすすめます。		町民	・いつでも気軽に自由にスポーツできるようにする				健康で明るいまちづくりを実現する
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標
①	スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	%	92.2	83.6	83.8	84.0	95.0
②	茅室町内の体育施設利用者数	人/年	177,638	165,626	115,020	150,000	180,000
③	高校生以下の初心者がゲートボールを体験できる機会	回/年	34	33	18	23	46
④							
成果指標設定の考え方	①住民満足度として非常に高い評価を得る数値とするもの。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ②前期計画で達成できなかった数値を目標とするもの。 ③事業機会を30%UPで推進しようとするもの。						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費(千円)	262,925	202,831	181,403
人工数(業務量)	1.8149	1.9441	1.6899

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察	
①2020年度の成果評価	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した
②2022年度の目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい
想定される理由 スポーツ振興事業全般においてコロナ感染症の影響により施設の閉館や事業の縮小または中止を余儀なくされ、十分な事業の実施とならず成果を上げることができなかった。しかしながら、近年のソフト事業の充実と施設の維持管理に一定の評価をいただいたものと解している。	
根拠(理由) 民間企業・団体等との連携協定事業の充実は、町民参加機会を確保するとともに満足度への貢献も大きい。社会体育施設再整備構想に基づき、施設の適正な環境整備を推進する。 本町発祥のゲートボールの推進を加速し、競技として継続できる環境づくりに努める。	
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括	
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業
③事務事業全体の振り返り(総括) ・民間団体との連携事業、特に北海道十勝スカイアース、北海道日本ハムファイターズとの協定に基づく事業は町民からの期待度も高く、すでに実施した事業への評価、満足度も高いといえる。しかしながら、本年度はコロナ禍で事業縮小や中止を余儀なくされた。今後も引き続き貴重な機会を活用し町民満足度の向上を図る。 ・各種大会出場の支援は継続実施するが、見直しも含め内容を検討する。 ・ゲートボールの競技人口が減少しており、競技としての存続の危機という認識で今後の取組みを加速して進めて行かなければならない。	

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した
			○			

※該当に○印

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設再整備構想に基づく計画的な施設整備と維持管理の実施。特に温水プール建替事業の適正実施。 ・スポーツ振興のソフト事業における民間企業・団体との事業連携の強化。「一流を見て、聴いて、学ぶ」ための町民参加事業の実施。 ・ゲートボール競技人口の減少。若年層や現役世代社会人に対する普及活動の強化。日本ゲートボール連合の「再生プロジェクト」及び本町「挑戦の流儀」の実施。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・温水プールの早期建替要望 ・社会体育施設再整備構想における計画的な施設整備 ・社会体育施設周辺の環境整備(駐車場、トイレ、支障木) ・ゲートボール普及事業の強化

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設再整備構想における計画的な施設整備 <ul style="list-style-type: none"> →温水プール建替に関する作業の適正実施 →施設機能の維持に要する計画的修繕 ・民間企業・団体等との連携によるスポーツ振興ソフト事業の強化(一流を見て、聴いて、学ぶ) ・ゲートボール普及事業において、日本ゲートボール連合が掲げる「再生プラン」への参画と、本町「挑戦の流儀」の着実な推進 ・少年団活動における指導者確保について、総合型地域スポーツクラブの調査研究と指導者派遣について検討し、事業化を見極める

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標はコロナ禍による外的要因であることから、変わらないと評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果				○
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した				

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果に向けて計画どおり進んでいる。	A	B	C	D	E
		進捗結果				○
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・メムロススキー場を生涯学習の場として、町民に利用しやすい環境にしてほしい。／・住民意識調査で意見の多い、バスケットのできる環境を整備していただきたい。／・発祥の地杯ゲートボール大会を、出たいと思わせる重みのある大会にしていきたい。／・発祥の地杯ゲートボール大会のプラカード持ちはいい思い出になると思うので、ぜひ実施していただきたい。 	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した				